



とうざん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一

子どもたちの力作が並びました

23日(金)の授業参観には、ご多用の中ご来校いただき、誠にありがとうございました。また、同日に開催いたしました「有田小やきもの展」にも、多くの方にご参観いただき、重ねて御礼申し上げます。

今年度はゲスト審査員として、李荘窯の寺内信二様をお迎えし、審査をしていただきました。その結果、以下の子どもたちが入賞しました。おめでとうございます。残念ながら入賞を逃した子どもたちの作品も、いずれも思いが込められた素晴らしいものばかりで、審査員泣かせてした。

最後になりましたが、子どもたちに丁寧にご指導くださいました「やきもの先生」の皆様、改めて心より感謝申し上げます。 ※ ホームページの紙面には、児童の氏名は掲載しておりません。あらかじめご了承ください。

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
テーマ	家(おうち)の 守り神	自分の守り神	せかいに1つ だけの花びん	あったらいいな こんな植木鉢	踊る風鈴	6年間の集大成 思い出のフォトフレーム
審査委員 長賞						
校長賞						
P T A 会長賞						

※ 入賞した作品は職員室前に展示しています。

有田いろはかるた

20日(火)の朝の時間に、ふれあいタイムを行いました。全校児童が縦割り班に分かれ、「有田いろはかるた」に取り組みました。皆さんもご存じのことと思いますが、このかるたには、有田町の文化や歴史などがたくさん盛り込まれています。解説書を見てみると、絵や文をかけた方のお名前が記されていて、知っている方も多く、懐かしい気持ちになりました。また、制作が1980年12月と記されており、小学生だった頃、かるたの絵の募集があって、図工の時間にかけたことを思い出しました。それから45年余り、このかるたが大切に受け継がれ、今もなお、子どもたちが楽しみながら有田町について知ることができる、かけがえのない存在であることを改めて感じました。

これからも本校では、特色ある教育活動を大切にしながら、ふるさと有田に親しみと誇りをもつ子どもたちを育てていきたいと思っています。



健康管理について

先週から今週にかけて、「今季最強最長寒波」という言葉を何度も耳にしました。通勤時間帯には、道路の電光掲示板の気温が「-5℃」を表示している日もあり、厳しい寒さが続きました。

学校ではインフルエンザによる欠席も見られるようになり、日々、子どもたちの体調の変化に気を配りながら過ごしています。ご家庭におかれましても、発熱や咳、喉の痛みなどの症状が見られる場合は、無理をせず登校を控え、早めに休養をとってください。

なお、学級閉鎖については明確な一律の判断基準があるわけではありませんが、感染状況を踏まえ、学校医の先生と相談しながら、その都度慎重に判断しています。引き続き、ご家庭での健康管理と感染予防へのご協力をお願いいたします。

給食週間 & おにぎり弁当

1月24日から30日は、全国学校給食週間です。日本の学校給食は、1889年(明治22年)に山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちを対象に無償で昼食を提供したのが始まりとされています。当初の献立は、おにぎり、焼き魚、漬物でした。23日の給食は、その当時の献立に近い給食をいただきました。また、この日は、おにぎり弁当の日で、登校した子どもたちから「自分でにぎったよ」や「大きいのをつくった」などという声が聞かれました。食べている様子を見てみると、とてもおいしそうにおにぎりを頬張っていました。ご家庭でのご協力、ありがとうございました。



すでに1月の献立表をご覧になってご存じかと思いますが、給食週間期間中はテーマのある献立になっています。26日(月)は、「6年生が家庭科の時間に考えた1食分の給食献立」、27日(火)は、「給食レシピ募集メニュー」、28日(水)は、「世界味めぐり給食～冬季オリンピックが開催されるイタリアの料理～」、29日(木)は、「ありた! ふるさと食の日～ありたの郷土料理～」です。この給食週間を通して、つくる人の気持ちや食べ物的重要性を知り、感謝の気持ちをもって食事をするのできる子どもに育ってほしいという願いも込められています。

この機会に、ご家庭でも給食や食べ物のことを是非話題にしてみてください。

なわとび週間

1月26日～2月6日の期間、「なわとび週間」に取り組みます。すでに体育の授業や休み時間には、なわとびをしている子どもたちの姿を見かけます。

なわとびは、走ったり跳んだりする基本的な動きを身につけ、体力やリズム感を育てる運動です。学習指導要領でも、子どもたちが運動を楽しみながら挑戦する力や、友達と関わって学ぶ力を伸ばすことが大切とされています。

期間中は、学年に合わせた回数や技に挑戦し、できた喜びや達成感を味わいます。ご家庭でも「がんばってね!」と声をかけてくださると、子どもたちのやる気がさらに高まります。

楽しく体を動かし、元気いっぱい頑張ってもらいましょう。

